

平成14年 6月1日発行第33巻第6号 (毎月1回1日発行)

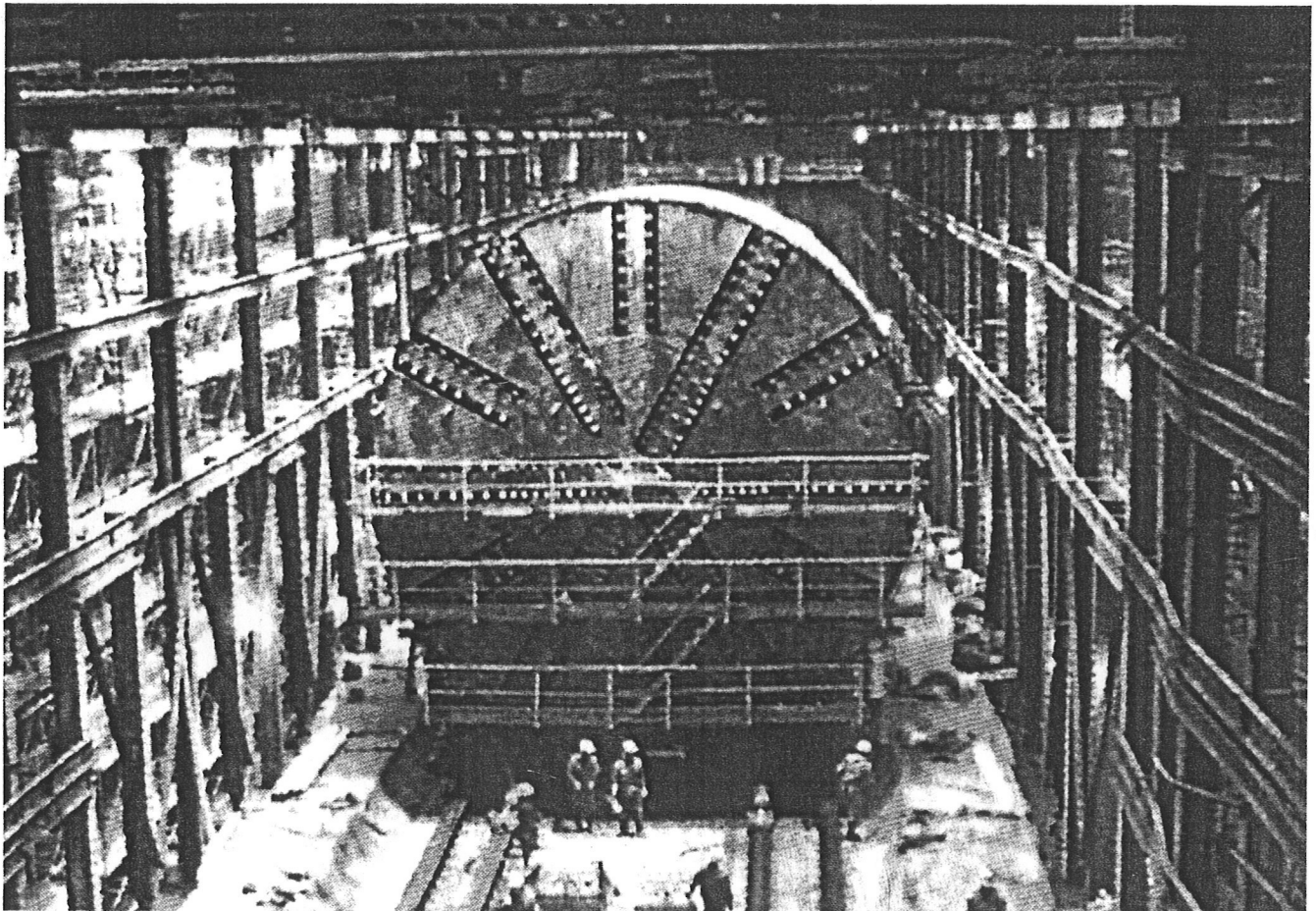
昭和45年11月18日第3種郵便物認可

トンネルと地下 **6**

vol. 33
no. 6
2002

可燃性ガスを含む膨張性地山の施工
小土かぶり軟質地山を新しい先受け工法で克服
各種重要都市施設下のシールド施工
覆工の品質と施工速度を改善した新開発のセグメント
鏡止めボルトの作用効果を三次元FEMで解析
トンネル工事におけるVEの実態調査

日本トンネル技術協会誌



トンネル ジャーナル

TUNNEL JOURNAL・TUNNEL JOURNAL・TUNNEL JOURNAL・TUNNEL JOURNAL・TUNNEL

国道185号休山新道が開通

中国地方整備局が建設を進めてきた国道185号休山改良(休山新道)が3月21日開通した。

同道は、呉市本通から阿賀・広地区を直結する延長2.6kmのバイパスで、1.7kmがトンネル。休山トンネルは、42年に国道「特24号」として、旧内務省が用地買収を始め、阿賀側で約150mを掘削中、第二次大戦の戦況悪化を受けて工事が中断。その後、工事再開の運動が起こり、87年3月の都市計画決定を受けて、89年度から旧建設省の直轄事業として用地買収、94年度から工事着手。

高知道4車線化刈屋工事着工

日本道路公団四国支社が建設を進めている高知自動車道4車線化工事、新宮IC～大豊IC間の刈屋工事が3月29日着工した。総延長1,328m、土工延長337m、橋梁延長759m、トンネル延長232m、トンネル掘削は、爆破方式によるNATM。03年11月の完成を目指す。

松山道川内トンネルが貫通

日本道路公団四国支社が建設を進めている松山自動車道川内トンネルが3月29日貫通した。

同トンネルは、松山自動車道西条IC～松山IC間48.8kmの4車線化工事として進められているもので、同区間のトンネルで最後の貫通。トンネル延長は1,338m、爆破掘削による補助ベンチ付き全断面掘削。01年3月10日掘削開始、約1年で貫通。

工事現場でファッションショー

デザイナーのコシノジュンコさんが東京・南青山の下水道工事現場で4月8日、ファッションショーを開いた。シールドの発進基地となる高

さ16mの仮囲い内部で行われたもので、会場には招待客など約1,000人が来場、コシノさんの秋冬新作コレクションに酔いしれていた。

臨海トンネル開通

東京都港湾局により建設工事が進められていた臨海トンネル(東京港臨海道路第1工区)が完成し、4月11日開通した。

東京港臨海道路は、大田区城南島と江東区若洲を東京湾を横断してつなぐ延長約8kmの道路。東京湾岸道路の交通渋滞緩和や物流効率化、沖合埋立地の交通アクセス向上が狙い。中間地点となる中央防波堤を境に2期に分けて施工。第1期は、中央防波堤から大田区側の第1航路(西航路)を海底トンネルで結ぶ区間。93年7月に着工。近接して東京国際空港(羽田空港)があり構造物の高さが制限されることから、海底トンネルが採用。設置水深は-29m、延長も約1.3kmと沈埋トンネルでどちらも日本一となる。

釜山～九州北部間海底トンネル

韓国建設交通省は4月15日、韓国南部の釜山と九州北部を結ぶ海底トンネル建設の妥当性を検討するための調査を近く行うことを明らかにした。来年初めにも調査結果が出次第、建設の是非について日本政府と協議する方針という。

同省は、これまでのところ、釜山～対馬～九州北部を結ぶ総延長200kmを想定しており、道路よりも鉄道の建設が有力だ。

国道56号須崎道路開通

四国地方整備局が建設を進めていた国道56号須崎道路の高知県須崎市吾井郷～池ノ内間4.1kmが3月23日開通し吾井郷～下分間5.1kmが全通、

自動車専用道路部の一部を利用し、一般道路として暫定供用を開始。

須崎道路は、須崎隧道区間の局部改良として事業着手。交通混雑が慢性化している須崎市内の交通混雑の解消を図るとともに須崎港湾整備計画の桐間地区土地区画整理事業と連携し、四国横断自動車道へのアクセス道としての機能を担う。

長田・高取山工区(北行)T貫通

阪神高速道路公団が建設を進めている阪神高速道路神戸山手線の「長田・高取山工区(北行)トンネル」が4月17日貫通した。

同工事は、神戸市須磨区の妙法寺付近から高取山の下を抜け、長田区の蓮宮付近に至る約2kmのトンネル工事。住宅密集地直下を通過、土かぶりの小さいトンネルであることから、沈下対策に補助工法を駆使して都市NATMで建設を進めていた。高取山工区の北行き線が1,243m、長田工区の北行き線が770m。南行き線は昨年4月に貫通している。

トンネルタイル緊急点検

国土交通省は、首都高や直轄国道などのトンネルを対象にタイル緊急点検を実施。22トンネル、313か所でタイルの「浮き」が発見され、応急対策としてタイル除去を行った。

同省は、首都高・八重洲トンネルで4月24日に発生したタイル落下事故を踏まえ、首都公団、各地方整備局、道路公団、阪神公団などに緊急点検を指示。タイルが設置されている567トンネルのうち、点検により交通への大きな影響が予想される123トンネルを除く444トンネルについて、同27日までに点検を完了。123トンネルについては目視点検を実施し、とくに異常が認められなかったが、5月16日までに点検を実施した。